OWNER'S MANUAL

ウェーブレディオCD

取扱説明書

この度はウェーブレディオCDをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

ウェーブレディオCD 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

目　次

安全上の留意項目 …… 3
開梱時のご注意 …… 5
　◆付属品を確認してください◆ …… 5
バックアップ用電池について …… 5
　◆9V乾電池のセット◆ …… 5
電源コードの接続 …… 6
FM/AM放送の快適な受信について（アンテナの接続） …… 6
　◆AM放送のアンテナは内蔵されています◆ …… 6
　◆FM放送のアンテナは、本体の電源コードです◆ …… 6
　◆マンションなどにお住まいの方は、共同アンテナを調べてください◆ …… 7
外部の機器との接続 …… 8
設置場所について …… 9
　◆設置が完了したら◆ …… 9
リモコンの使い方 …… 10
　◆電池の入れ方◆ …… 10
　◆リモコンの動作範囲◆ …… 11
　◆リモコンキーの名称と使い方◆ …… 11
現在時刻の設定ーリモコンでは操作できませんー …… 12
表示パネルの設定ーリモコンでは操作できませんー …… 12
　◆12、24時間表示の切り替えについて◆ …… 12
　◆時計表示と時計以外の表示の切り替えについて◆ …… 12
　◆表示パネルの明るさの微調整◆ …… 13
いつまでも良い状態でご使用いただくために …… 14
　◆電池交換◆ …… 14
　◆本体のお手入れについて◆ …… 14
基本の操作 …… 15
　◆電源のON/OFFのしかた◆ …… 15
　◆音量調節のしかた◆ …… 16
　◆音源（FM/AM/CD/AUX）の選択◆ …… 16
便利なタイマー機能 …… 17
　◆スリープ機能について◆ …… 17
　◆ナップタイマー機能について◆ …… 17
CD（コンパクトディスク）を聴いてみましょう …… 18
　◆CDの取り扱いについて◆ …… 18
　◆CD関連の表示内容◆ …… 19
　◆CDを演奏してみましょう◆ …… 19
　◆聴きたい曲を選ぶとき◆ …… 20
　◆曲の中の聴きたい箇所をさがすには◆ …… 21
　◆CD再生時の表示について◆ …… 21
　◆ランダム（順不動）、リピート（繰り返し）再生について◆ …… 22
　◆再生終了後に他の音源に切り替える◆ …… 23
　◆CD再生中に他の音源に切り替えて、再びCDの再生にする◆ …… 23
　◆聴きたい順にプログラムーリモコンではプログラムできませんー◆ …… 24
ラジオを聴いてみましょう …… 26
　◆ラジオの聴き方◆ …… 26
　◆ラジオ関連の表示内容◆ …… 27
アラーム（目覚まし）機能について …… 28
　◆アラーム（目覚まし）の設定ーリモコンではできませんー◆ …… 28
　◆アラーム（目覚まし）音量の設定◆ …… 30
　◆スヌーズ時間の設定◆ …… 30
　◆アラーム（目覚まし）設定の中止◆ …… 30
　◆アラーム（目覚まし）の確認◆ …… 31
　◆アラーム（目覚まし）の使用方法◆ …… 31
　◆アラーム（目覚まし）を止める◆ …… 32
　◆スヌーズを使う◆ …… 32
　◆アラーム（目覚まし）が鳴っている時に音量調整◆ …… 32
故障かな？と思ったら …… 33
故障の場合のお問い合わせ先 …… 34
仕　様 …… 34
保　証 …… 35

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	ボタン電池を使用する機器のみ ●この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は,小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
	●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

●この機器の後部にある、通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ＋ と ー の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●おの手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

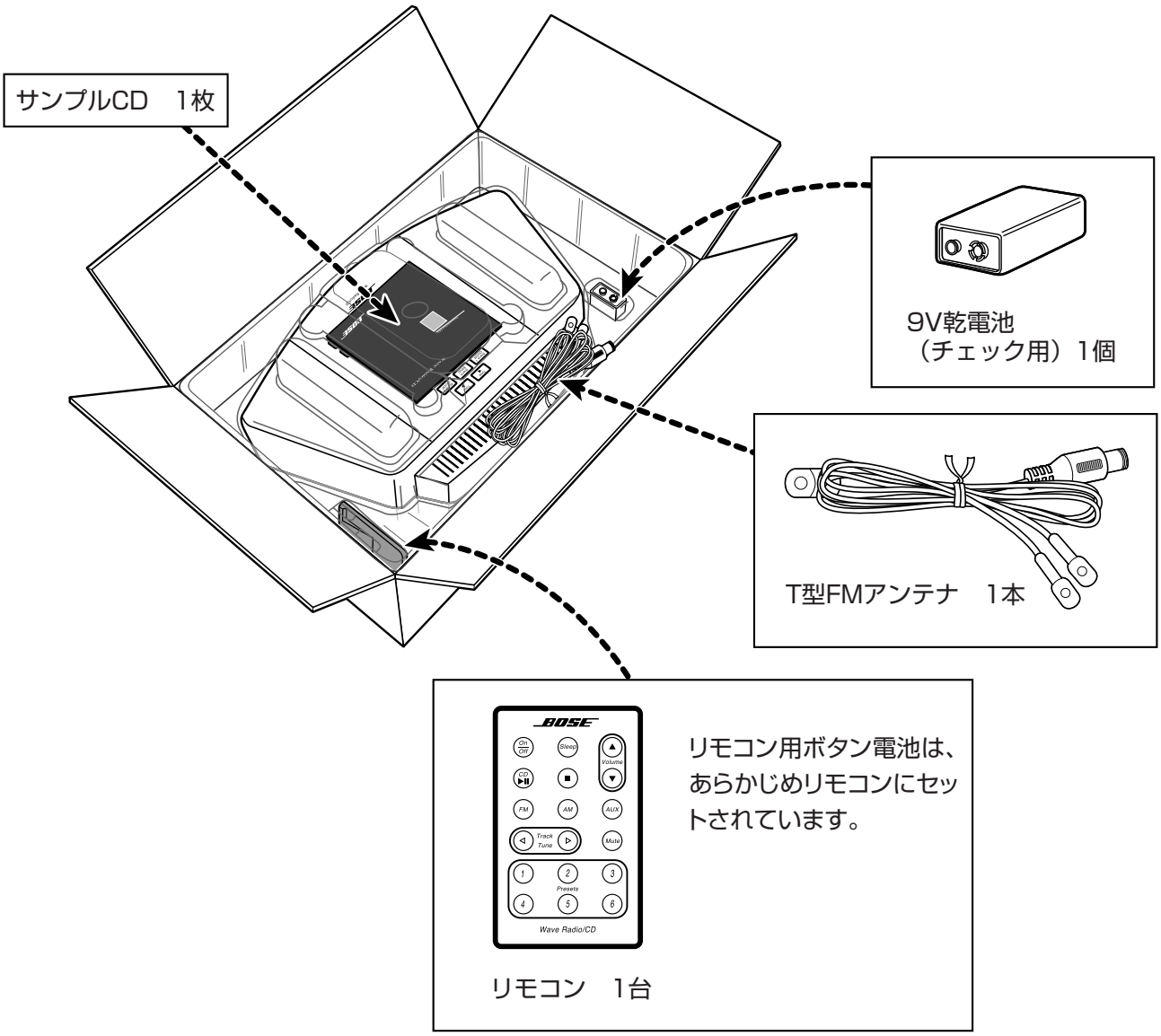
あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

開梱時のご注意

※表示部の保護シートは設置が完了するまではがさないようにしておきます。

◆付属品を確認してください◆

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。



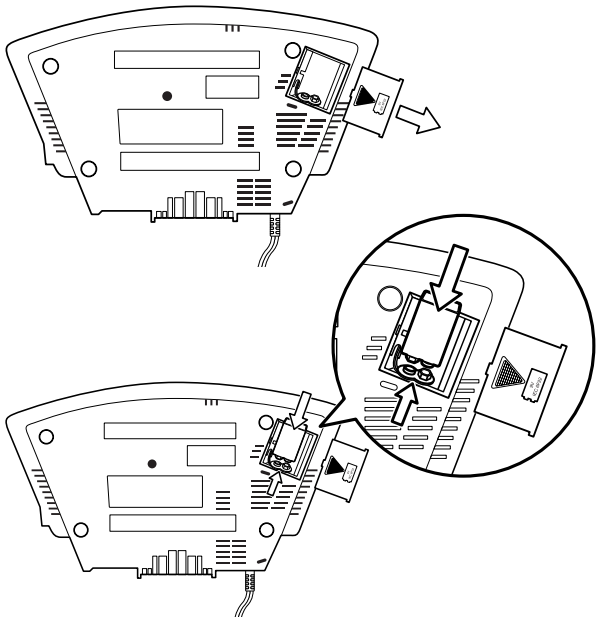
バックアップ用電池について

◆9V乾電池のセット◆

※付属の電池は動作チェック用です。必ず新しい電池（アルカリ乾電池）をご用意ください。

ウェーブレディオCDは9V乾電池により、内蔵メモリーのデーターを保持します。また、電源プラグがコンセントから抜かれていたり、停電が起こった場合、約24時間アラーム·システムの機能をバックアップします（バックアップ·アラームシステム）。コンセントにつながれていない場合、電池の節約のため表示パネルへの表示はしませんが、時計とアラーム機能は働きます。ただし、アラーム音をラジオやCDに選択してもブザー音しか鳴りません。電池を入れずにウェーブレディオCDを使用しても、ウェーブレディオCDが故障することはありませんが、コンセントが抜けるとメモリの内容は消えてしまいます。必ず電池を入れてご使用ください。また、電池は必ずアルカリ乾電池をご使用ください。

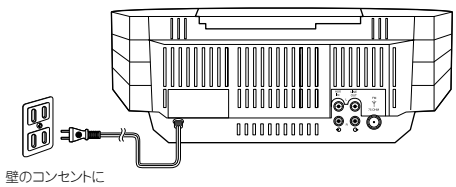
1. 本体にCDが入っていない事を確認して、ウェーブレディオCDの天板を傷つけないように布などの上に裏返しにして置いてください。
   ※保護シートが貼ってあると、不用意にCDカバーが開くのを防ぎます。また、保護シートをはがした場合、本体を裏返しにする時にCDカバーが開かないように手などで押さえてください。
2. 正面から見て右底部に電池ボックスがあります（右図参照）。電池カバーの矢印を指で押し、カバーをスライドさせながら本体からはずしてください。
3. 端子の形状に注意して、しっかりと乾電池をセットしてください。
4. 電池カバーをスライドさせながら、元の位置に戻してください。



電源コードの接続

電源プラグを電源コンセントにしっかりと奥まで確実に差し込んでください。

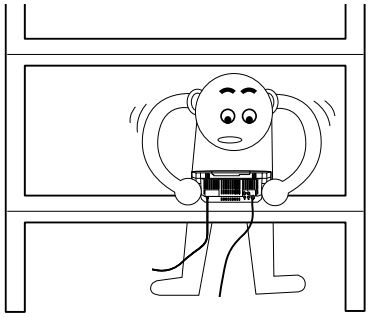
⚠ **注意** FMアンテナは電源コードの中に納められています。FM受信を最良の状態にするため、電源コードは完全にのばしてご使用ください。



FM/AM放送の快適な受信について（アンテナの接続）

◆AM放送のアンテナは内蔵されています◆

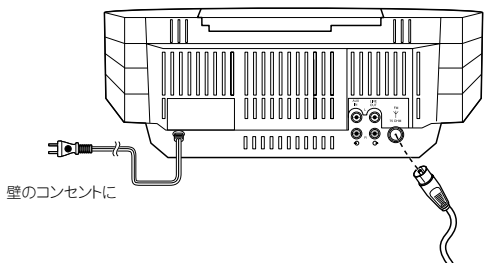
AM放送を受信するにはアンテナが重要な役割を果たします。内蔵されているAMバーアンテナは、比較的ノイズに対して有利ですが、できるだけ本体とノイズ源（パソコン、蛍光灯、マイコンを内蔵している電気機器等）から50cm以上遠ざけて設置するようにしてください。また、本体の向きをいろいろ試して、感度がよくなる方向に向けて置いてください。

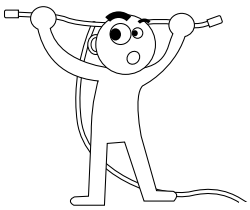


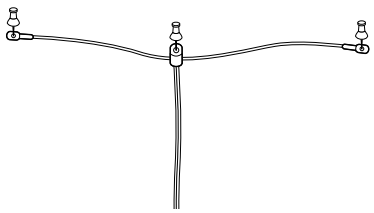
◆FM放送のアンテナは、本体の電源コードです◆

FM放送受信用のアンテナは電源コードの中に収められています。電源コードは、丸めたままにしないで必ず伸ばしてご使用ください。都市部や、都市近郊などの比較的電波状況の良い地域では、外部アンテナを接続しなくてもFM放送が十分受信できます。外部アンテナを使用したほうがいいか、使用しなくてもいいかは、ラジカセ等を使って調べることができます。大体の目安として、ラジカセ等でFM放送を受信して、受信状況がよい場合は、外部アンテナを使用しなくても、電源コードのアンテナでFM放送の受信が可能です。もしラジカセ等を使って受信状況がよくない場合は、外部アンテナの接続が必要になります。

部屋に共同アンテナの端子が無く、お住まいが近郊の場合、ウェーブレディオCDに付属されているT型アンテナを使用します。T型アンテナは、押しピンなどで壁などに固定して使用します。丸めたままにしておいたり、垂らしたままにしないで、必ずT字型に伸ばして、複数の放送局の受信状態が最も良くなるように、方向や設置位置を決めてください。FMアンテナはAMアンテナ以上に方向性が重要です。受信状況が不安定な場合、本体の表示部に“STEREO”の表示が点灯と消灯を繰り返すことがあります。







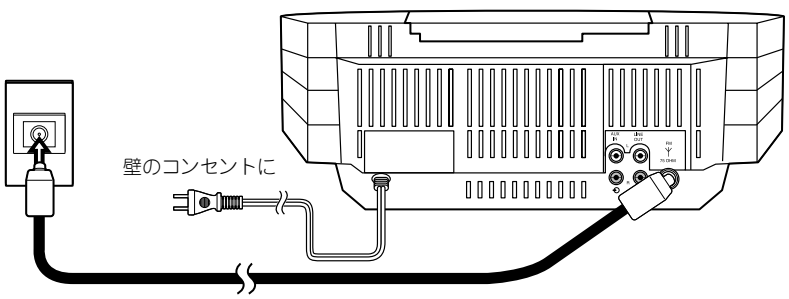
また、「シュワー」、「ジュワジュワ」というノイズが聞こえる場合はマルチパス障害が発生している恐れがあります。このとき、アンテナ自身の位置と方向を少しづつ変えると、改善できる場合があります。外部アンテナを使用しない場合でも、本体の電源コードの位置を移動すると、受信状況が改善される場合があります。

それでも感度が不十分な場合は、お近くの電気店にご相談になって、アンテナ・ブースター（電波の増幅機）等をご使用になることをおすすめします。ブースターをご使用になるときは、ブースターの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

◆マンションなどにお住まいの方は、共同アンテナを調べてください◆

マンション等の集合住宅では、壁にあるアンテナ・コネクタ・コンセントに、FM／TVと明確に表示がない場合があります。TVでも、VHFやUHFの他に、BS/CS放送などの衛星放送の信号も含まれた、共同アンテナシステムや、さらには、ケーブルTVもあり、専門の業者でないと見分けることが困難です。お住まいになっている住宅の管理業者等に、共同アンテナにFMアンテナが組み込まれているかを確認し、もし組み込まれていれば、ウェーブレディオCDのアンテナ端子とアンテナ・コネクタ・コンセントとをF型コネクタのついた同軸ケーブルで接続すれば、良好なFM放送の受信が可能です。

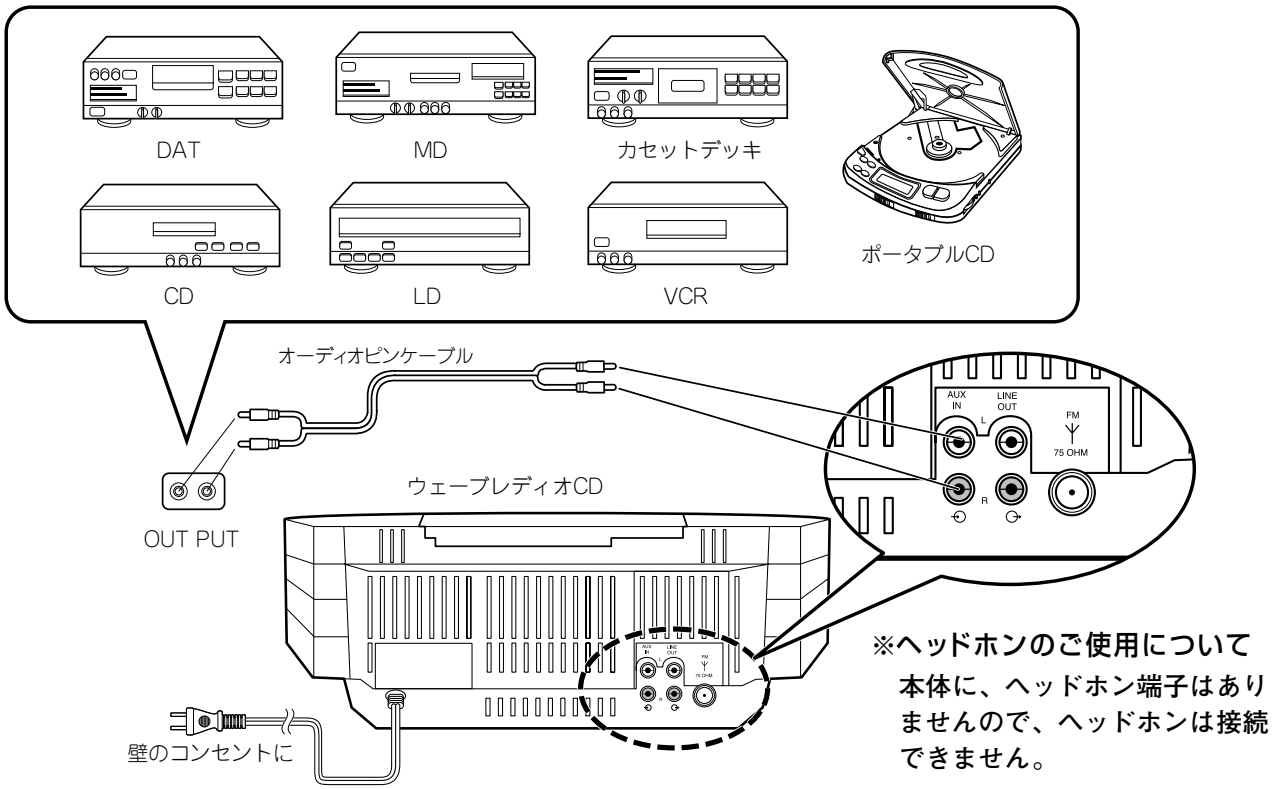
共同アンテナにFM放送のアンテナが組み込まれているかを簡単に調べる方法は、部屋の壁にあるテレビのアンテナ・コネクタ・コンセントに、F型コネクタのついた同軸ケーブルで、ウェーブレディオCDのアンテナ端子と繋げてみてください。これでFM放送が良好に受信できれば、電気店にてアンテナ・コネクタ・コンセントからの信号をFMとテレビに分配する“テレビ・FMアンテナ分配器”をご購入いただき、テレビの信号とFMの信号とに分配して、FMアンテナの出力をウェーブレディオCDのアンテナ端子に接続してください。



外部の機器との接続

AUXに外部機器をつないでください

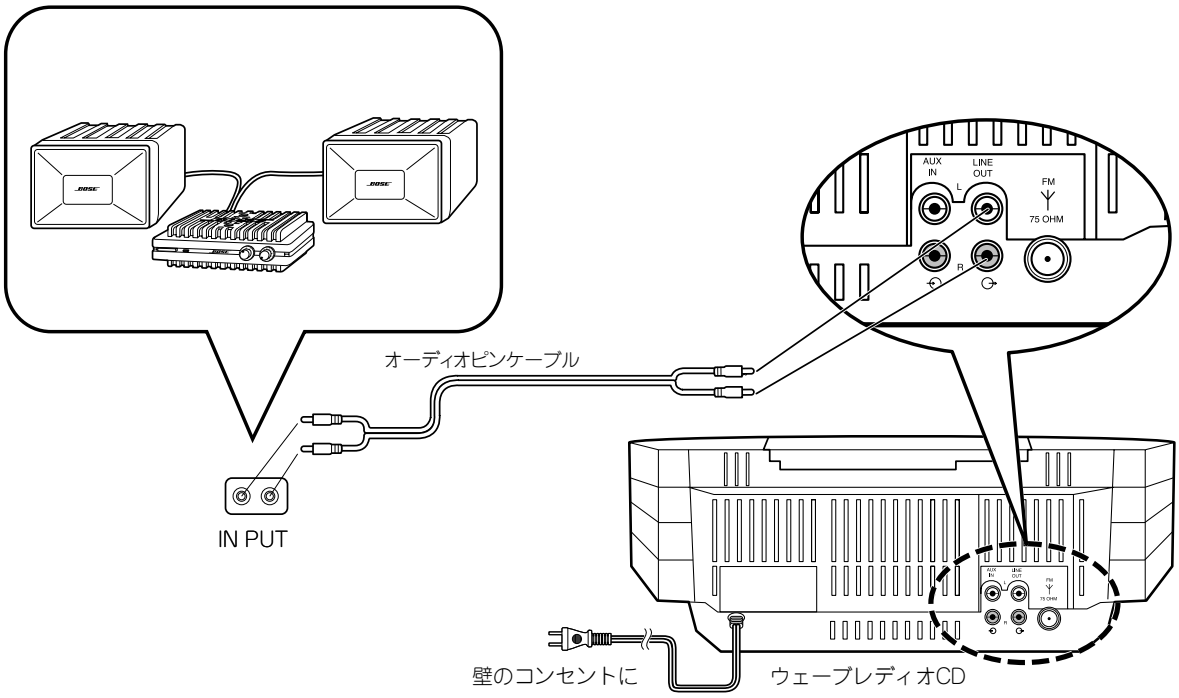
背面のAUX INに市販のオーディオピンケーブルを使って、外部の機器の出力端子と接続します。
※本体の電源をONにしても、外部の機器は連動しません。



※ヘッドホンのご使用について
本体に、ヘッドホン端子はありませんので、ヘッドホンは接続できません。

外部にオーディオアンプとスピーカーをつなげて楽しむとき

図のようにLINE OUT（ラインアウト）端子と外部のオーディオアンプを市販のオーディオピンケーブルを使って接続します。
※この端子から出力される音量は本体の音量に連動しません。



設置場所について

●安全上の設置時のご注意

・ウェーブレディオCDは、しっかりとしたテーブルなど、平坦な場所に設置してご使用ください。
・ウェーブレディオCDを金属板の上に設置しないようにしてください。ラジオの受信感度が低下することがあります。
・電子レンジ、コンピューター、ビデオデッキ、テレビなどの電子機器の近くに設置しないようにしてください。電子機器からのノイズでラジオの受信感度が低下することがあります。
・湿気やほこりの多いところは設置しないようにしてください。内部に湿気やほこりが入り込むと火災や故障の原因となります。
・ウェーブレディオCDは内部から、多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。

●より良い音を楽しむための設置時のポイント

・ウェーブレディオCDを設置する場合は、壁から離しすぎないほうが（約50cm以内が目安）、豊かな低音が得られます。
・ウェーブレディオCDを聴くときは、ウェーブレディオCDに対して正面で聴くほうが、より良い音響効果が得られます。

⚠ 注意

このウェーブレディオCDは、キャンセリング・マグネット方式による低磁束漏洩になっています。通常のスピーカーはテレビやモニターに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、ウェーブレディオCDはテレビやモニターなどへの近接設置が可能です。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

⚠ 注意

●リモコンと本体受光部の間に障害があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
●赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると誤動作することがあります。また逆に、赤外線で操作する他の機器を使用時にこのリモコンを使用すると、その機器を誤動作させることがあります。
●直射日光や、蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコンで操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

◆設置が完了したら◆

ウェーブレディオCDの設置が完了したら、表示部の保護シートをはがしてください。保護シートは本体を輸送するとき、または移動するときに表示部分に傷がつかないように保護しているシートです。保護シートを貼ったままですと表示が見にくくなるばかりでなく、リモコンの感度が落ちたり、◆表示パネルの明るさの微調整◆（13ページ参照）が正しく行われなくなる場合があります。

リモコンの使い方

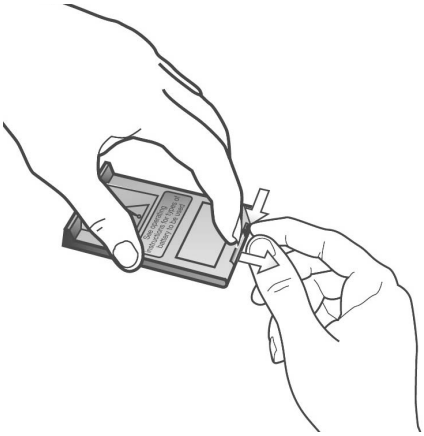
◆電池の入れかた◆

1. リモコンを裏返しにします。

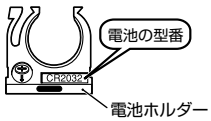
2. ボールペンなどの先のとがったものや指の爪などを使って、電池ホルダーを引き出します。

タイプAの場合

タイプBの場合

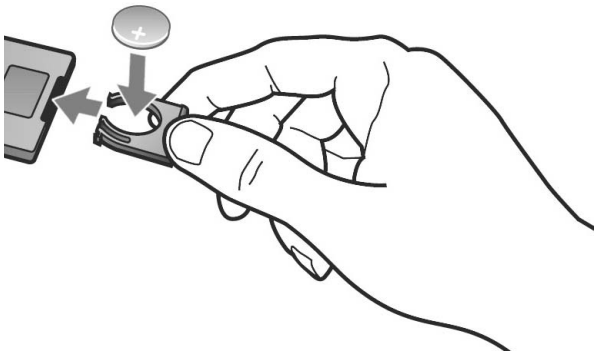


電池を交換する場合は、電池の型番にご注意ください。電池の型番はリモコンの電池ホルダーに書かれている型番を見てご用意ください。



3. ホルダーに電池を入れます。ホルダーに使用できる電池の型番が記載されていますのでご確認ください。㊉側が上になるように電池ホルダーに乗せます。電池の上下を間違えないように気をつけてください。

4. ホルダーを元に戻します



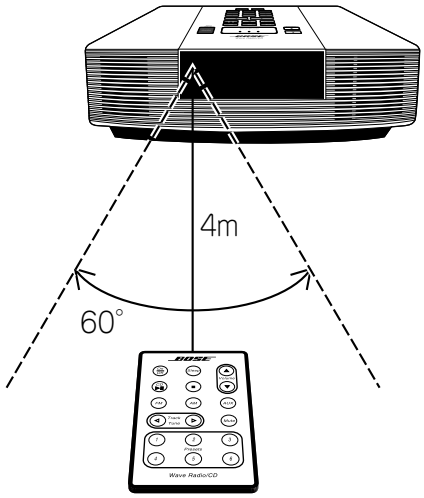
5. リモコンを家具などに固定する場合は、市販のマジックテープを適当なサイズに切って使用してください。
どうしても手に入りにくい場合は、ボーズ・エクスポート・インク東京事務所フリーダイヤル 0120-002-009までご連絡ください。

⚠ 警告

リモコン用の電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、科学物質で皮膚を犯される結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。
また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には指定の電池のみをご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

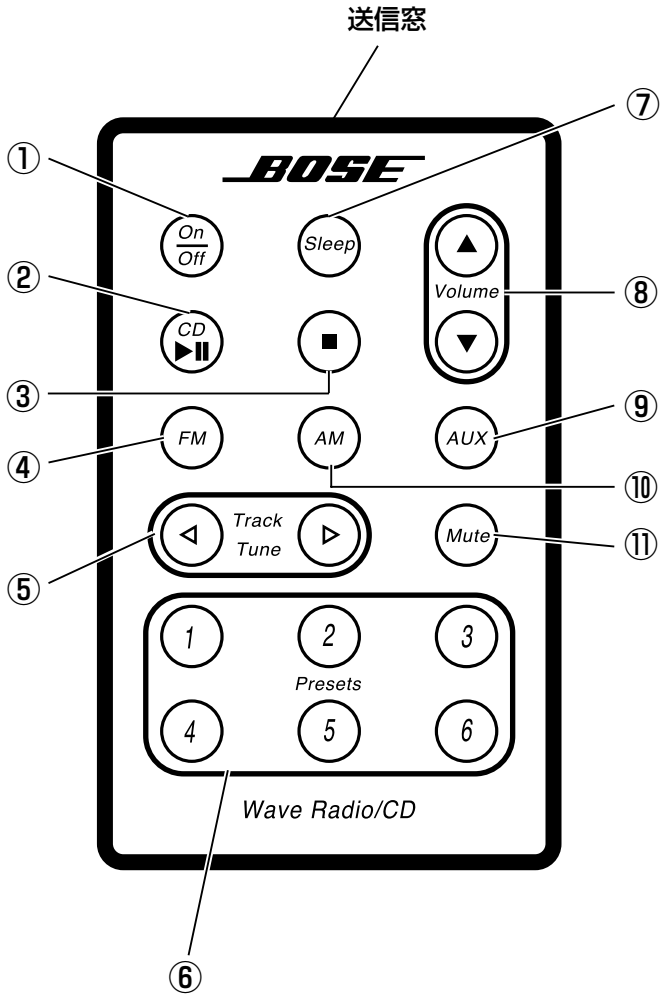
◆リモコンの動作範囲◆

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状がでてきたら、リモコンの電池を交換してください。電池を交換する場合、電池の型番にご注意ください。電池の型番はリモコンの電池ホルダーに書かれている型番を見てご用意ください。違うタイプのものをご使用になると、動かないばかりでなく機器の故障の原因となりますので、必ず同じ型番の電池をご使用ください。



◆リモコンキーの名称と使い方◆

リモコンキーの操作仕様



① On/Offキー
本体の電源をON/OFFするときに使います。アラームを止めるときにも使用します。

② CD再生キー
CDの再生/一時停止をするときに使用します。

③ CDストップキー
CDを停止させるときに使用します。

④ FMキー
FM放送を選ぶときに使用します。

⑤ Track/Tune(トラック/チューン)キー
放送局を選んだり、CDを選曲したりスキャンしたりするときに使用します。

⑥ Presets(プリセット)キー
放送局を登録したり、登録した放送局を選ぶときに使用します。

⑦ Sleep(スリープ)キー
このキーを押してスリープ機能を働かせます。リモコンでスヌーズ機能を使うときにも使用します。

⑧ Volume(ボリューム)キー
音量を調節するときに使用します(レベル:0〜99)。

⑨ AUX(外部入力切替)キー
AUX INに接続された機器を聴くときにこのキーを押して入力を切り替えます。本体の電源を入れるときにも使えます。また、アラーム設定モードを解除するときにも使用します。

⑩ AMキー
AM放送を選ぶときに使用します。

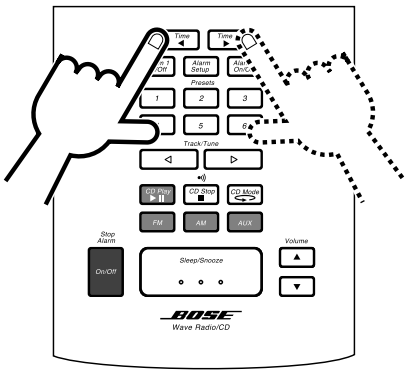
⑪ Mute(ミュート)キー
一時的に消音します。解除するにはもう一度このキーを押すか、⑧ボリューム▲キーを押します。

現在時刻の設定 －リモコンでは操作できません－

図のように Time◀ または Time▶ キーを押して現在時刻に合わせます。

・ Time◀ キーを押すと分が戻り、Time▶ キーを押すと進みます。押し続けていると高速で動きます。

・このキーを押して、数字が変わった時点で時刻が設定されます。

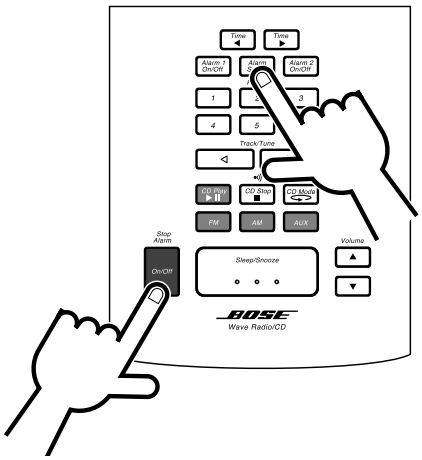


表示パネルの設定 －リモコンでは操作できません－

◆12、24時間表示の切り替えについて◆

本機は、12時間表示か24時間表示のどちらかお好きな表示方法が選べます。お好きな方をお選びください。

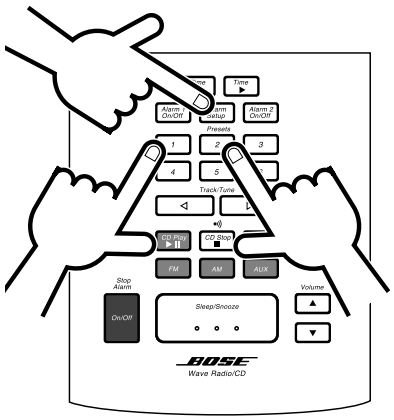
1. 本体の電源が切れていることを確認してください。
   本体の電源が入っている場合は、本体上部の On/Off キーを押して電源を切ってください。
2. 図のように Alarm Setup キーを押しながら On/Off キーを押すと、12時間表示と24時間表示が交互に切り替わります。お好きな方を選んでください。



◆時計表示と時計以外の表示の切り替えについて◆

ラジオまたはCDを聴いているときに、時計表示にするか、時計以外の表示にするかの切り替えができます。時計以外の表示の場合は、本体の電源を切ったときだけ時計表示をします。時計表示の場合は、常に時刻を表示します。

1. 本体上部の On/Off キーを押して電源を入れてください。
2. 図のように Alarm Setup キーを押しながら*Presets*（プリセット）キーの 1 を押すと時計表示になり、2 キーを押すと、今聴いている音源の表示になります。



◆表示パネルの明るさの微調整◆

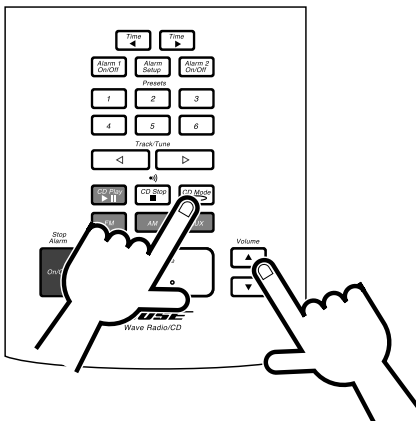
表示パネルは周囲の明るさによって、明るく表示するノーマルと薄暗く表示するディムの輝度切り替えを自動的に行います。

また、ノーマル時、ディム時それぞれの表示の明るさを微調整することができます。

・ノーマル時の明るさの微調整は、周囲が明るいとき（ノーマル時）に行います。明るさのレベルは5～9です。レベルは表示部の右に表示されます。

・ディム時の明るさの微調整は、周囲が暗いとき（ディム時）に行います。明るさのレベルは1～5です。レベルは表示部の右に表示されます。

微調整の方法は図のように CD Mode キーを押しながら*Volume*（ボリューム）キー ▲、▼ を押す事で調整ができます。



※本体の電源が入っているか、切れているかにかかわらずいつでも調整できます。

いつまでも良い状態でご使用いただくために

◆電池交換◆

ウェーブレディオCDのメモリーとバックアップ・アラームシステムの保持のため、毎年あるいは停電があったらバックアップ用電池を交換してください。ただし、長期間本機を使用しない場合は、バックアップ用9V乾電池もはずしてください。再度使用する場合は、時計・アラーム・プリセットの再設定が必要です。付属の乾電池は動作確認用です。必ず新しいアルカリ乾電池をご用意ください。

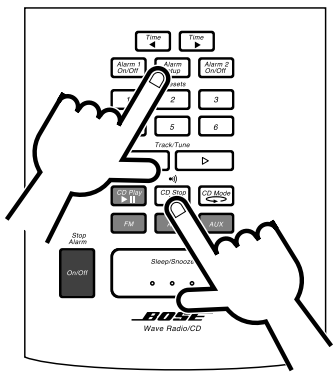
> **⚠ 注意** 使用期間が過ぎた電池は、液漏れを起こし故障の原因となることがありますので使用しないでください。また、電池交換中はコンセントから電源コードを抜かないでください。電池交換中に電源コードを抜いてしまった場合は、時計・アラーム・プリセットの再設定が必要です。

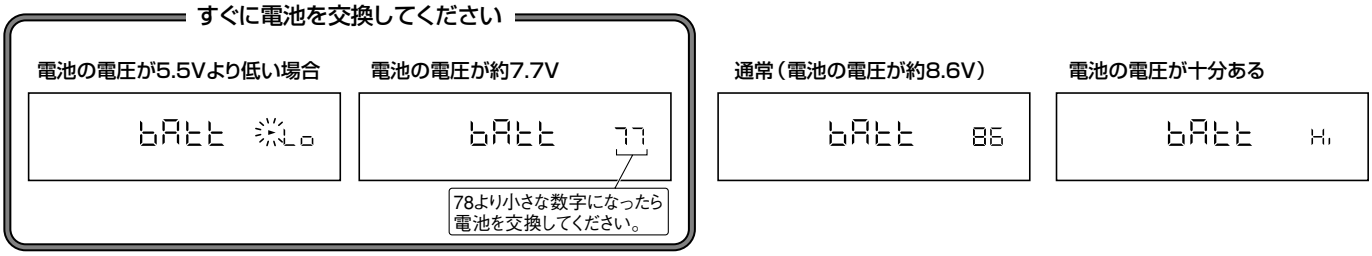
●電池の残量確認ができます。

電池の残量は次の手順で確認できます。

※電源コードがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

1. 電源を切ります。
2. Alarm Setup キーを押しながら CD Stop ■ キーを押します。
3. 表示パネルに現在の電池の電圧が表示されます。電池の電圧が十分ある場合は表示パネルの右側に“Hi”と表示されます。電池の電圧が5.5V以下の場合は“Lo”と表示されます。本機が正常な動作をするためには7.8V以上の電圧が必要です。パネル表示の数字が“78”より小さくなったらすぐに電池を交換してください。





※電池の交換方法は5ページ◆9V乾電池のセット◆を参照してください。
リモコン電池の交換は10ページ「リモコンの使い方」を参照してください。

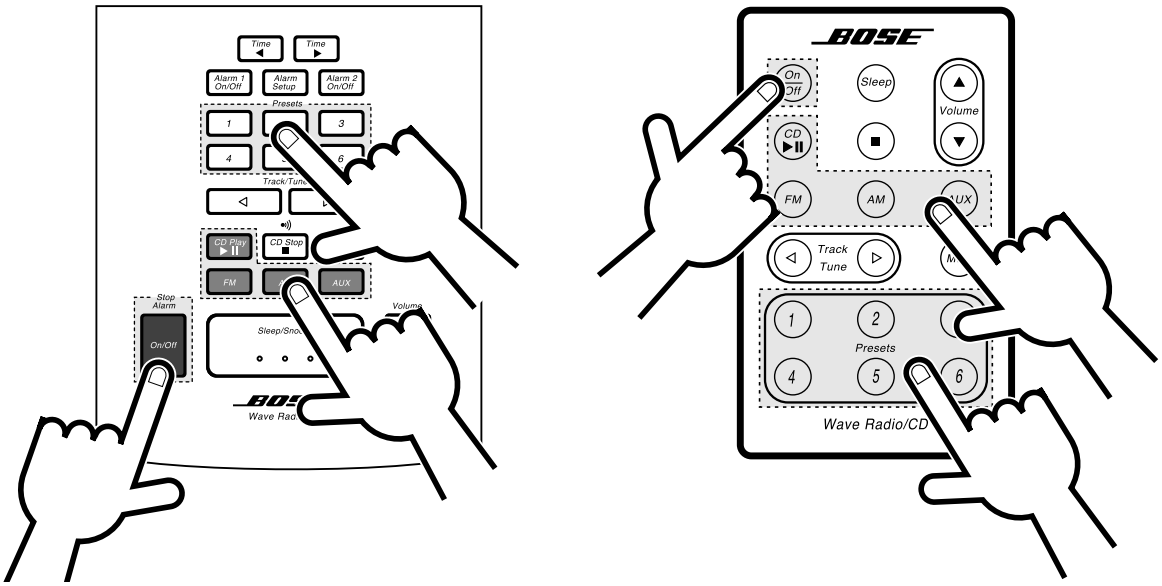
◆本体のお手入れについて◆

通常は、やわらかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水を薄めた液にやわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。シンナー・ベンジン・アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり、外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

基本の操作

◆電源のON/OFFのしかた◆

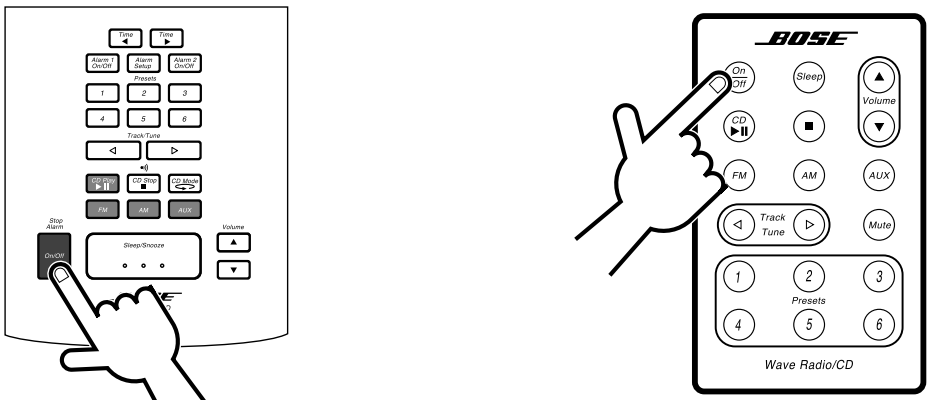
電源の入れ方



[ ] の部分のキーを押すと電源が入ります。

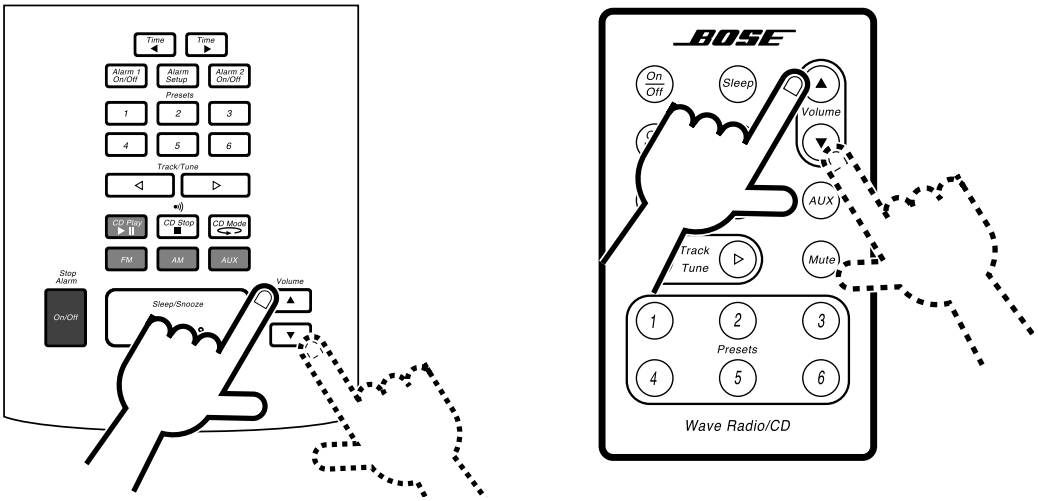
※本体の CD Stop キーあるいはリモコンの ■ キーを押しても電源を入れることができますが、何も音は出せません。

電源の切りかた



◆音量調節のしかた◆

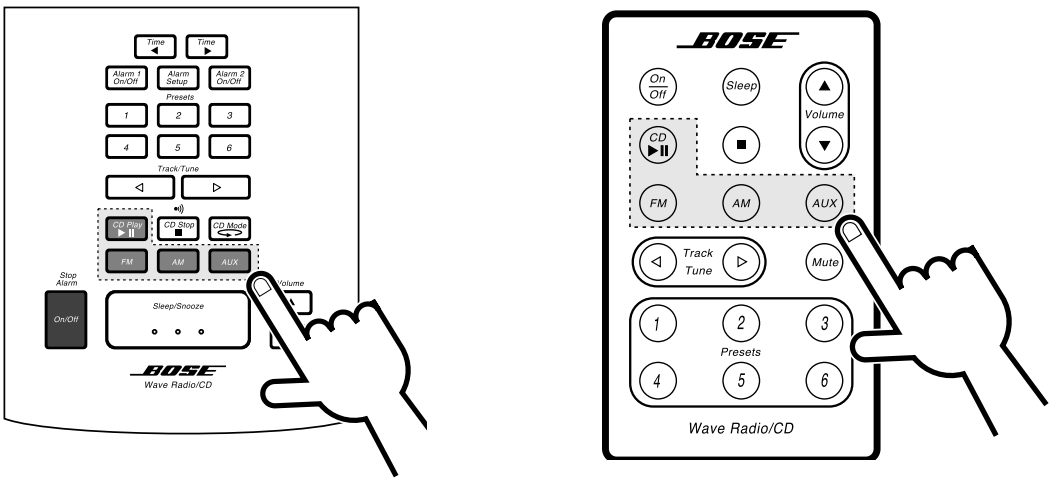
本体の*Volume*（ボリューム）▼キーまたはリモコンの*Volume*▼キーを押すと音量が下がります。本体の▲キーまたはリモコンの▲キーを押すと音量が上がります。
最小レベル：0
最大レベル：99



※電源が入っていないときでもあらかじめ音量の調節ができます（レベル70まで）。
※リモコンのMuteキーを押すと一時的に音が止まります。もう一度押すと直前に聴いていた音量に戻ります。

◆音源（FM/AM/CD/AUX）の選択◆

聴きたい音源（FM/AM/CD/AUX）のキーを押します。



※AUXに接続されている外部機器を聴く場合は、必ず外部機器の電源を入れて音源を再生しておいてください。本体のAUXを押しても外部機器の電源は入りません。

便利なタイマー機能

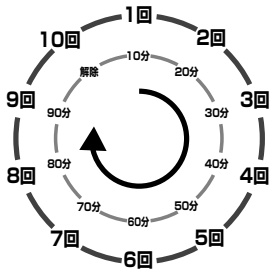
音源の選び方や聴き方は19ページ以後の内容をご覧ください。

◆スリープ機能について◆

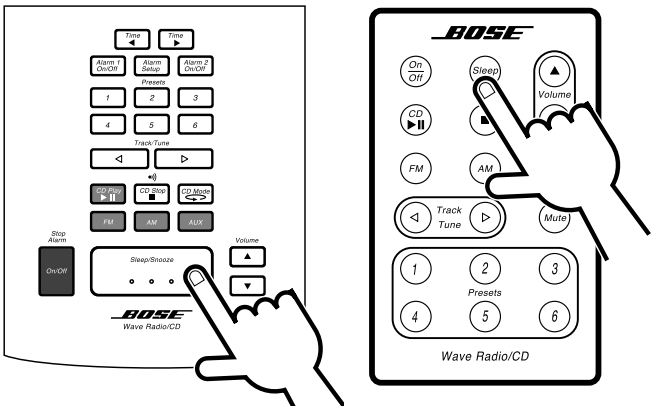
音楽などを聴きながら寝ても、一定時間後に自動的に音源を切ることができます。

・スリープの設定のしかた

本体の Sleep/Snooze キーまたはリモコンの Sleep キーを押して設定します。キーを押すたびに（押し続けると）10分ずつ設定時間が増えます（最長90分）。



※一度設定すると設定時間を変えないかぎり、次回も同じ設定時間で働きます。



・スリープの解除のしかた

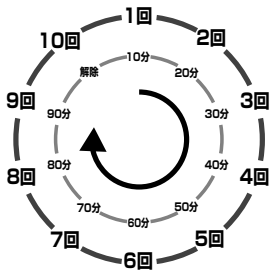
本体の Sleep/Snooze キーまたはリモコンの Sleep キーを表示部の表示が“OFF”になるまで押します。

◆ナップタイマー機能について◆

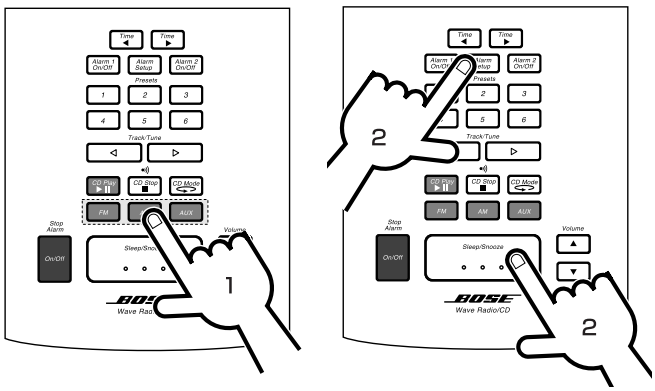
ナップタイマーとは、一定時間後に自動的に電源が入る機能です。ちょっと昼寝をしたり、休憩時間のタイマーとして使うと便利な機能です。

・ナップタイマーの設定のしかた

1. 電源が入った時に聴きたい音源をCD、FM、AM、AUXキーを押して選びます。
2. Alarm Setup キーを押しながら Sleep/Snooze キーを押します。
   Alarm Setup キーを押しながら Sleep/Snooze キーを押すたびに（押し続けると）10分ずつ設定時間が増えます（最長90分）。



※一度設定すると設定時間を変えないかぎり、次回も同じ設定時間で働きます。



・ナップタイマーの解除のしかた

Alarm Setup キーを押しながら Sleep/Snooze キーを表示部の表示が“OFF”になるまで押します。

CD（コンパクトディスク）を聴いてみましょう

◆ CDの取扱について ◆

結露現象について

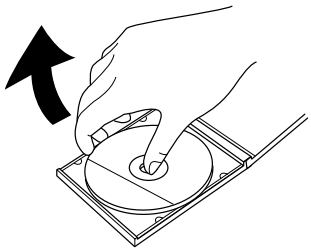
冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。CDプレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるCDからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。
このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。
ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください（CDの演奏は片面だけです）。
七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、CDプレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってCDは従来のレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

※CDは、2枚以上重ねて置いたり、CD以外のものをトレーの上に置かないでください。故障の原因になります。

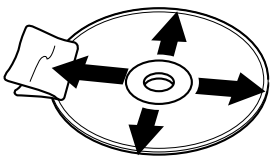
ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。



ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

ディスクの表面はいつもきれいに

CDの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずCD専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。



※CDは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用すると、CDの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

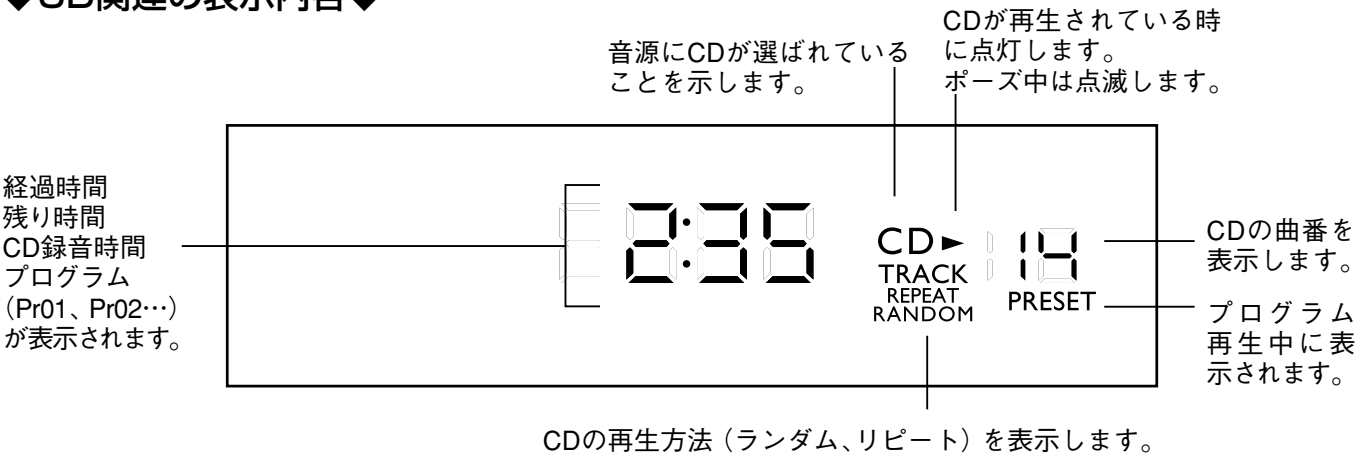
CD保管上の注意

CDはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

- ●直射日光の当たる場所。
- ●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
- ●車の中などの高温になる場所。
- ●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
- ●極端に寒い場所。
- ●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
- ●屋外や直接水のかかるところ。

⚠ 注意 ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

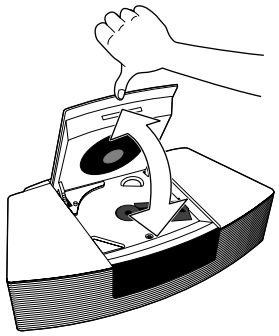
◆CD関連の表示内容◆



◆CDを演奏してみましょう◆

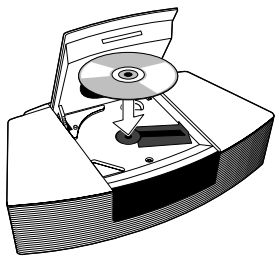
> ⚠ **注意** レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

1. 図のようにCDカバーを手で持ち上げて開けます。



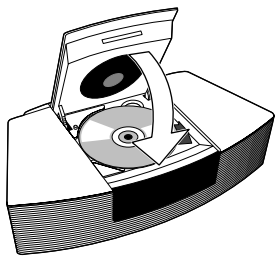
> ⚠ **注意** 内部のピックアップレンズには触れないでください。レンズに指紋や傷などが付くと、CDを再生できなくなる場合があります。

2. CDのレーベル面を上にしてセットします。



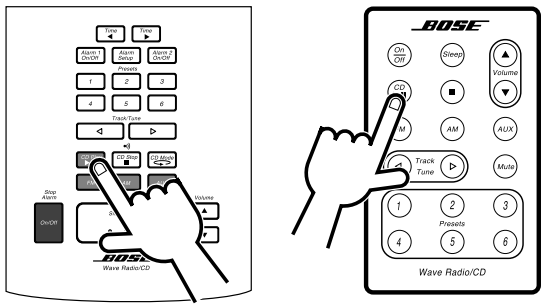
3. CDカバーを閉めます。

CDカバーは半分位まで閉めれば、自動的に閉まります。

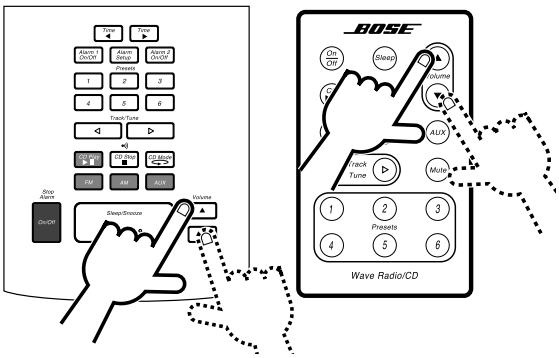


4. 本体の CD Play またはリモコンの(CD)キーを押すとCDの再生が始まります。

※電源が入っていなくても上記のキーを押すと、電源が入りCDの再生が始まります。

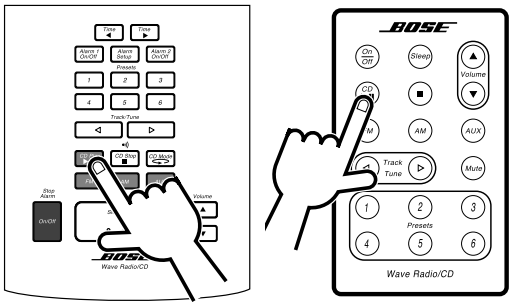


5. 図のように*Volume*（ボリューム）キーを押して音量を調節します。

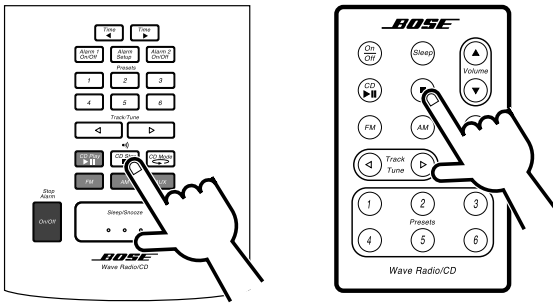


6. 再生中にポーズ（一時停止）するときは本体の CD Play またはリモコンの(CD)キーを押します。ポーズ（一時停止）を解除するときは、もう一度上記のキーを押します。

※10分間ポーズ（一時停止）状態が続くと自動的に電源が切れます。



7. 再生をやめる場合は本体の CD Stop またはリモコンの(■)キーを押します。



◆聴きたい曲を選ぶとき◆

CDの再生中またはポーズ（一時停止）状態のとき

・本体の*Track/Tune* ◁ キーまたはリモコンの(◁)キーをトンと1回押すと現在再生中の曲の最初に戻ります。

・本体の*Track/Tune* ◁ キーまたはリモコンの(◁)キーをトントンと2回押すと一つ前の曲が選べます。

※CDの一曲目の場合は、CDの最後の曲を選ぶことができます。

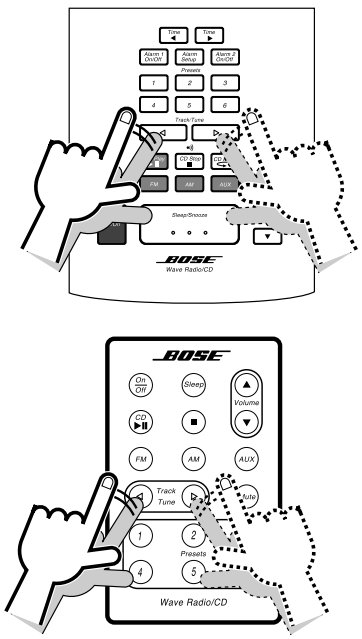
・本体の*Track/Tune* ▷ キーまたはリモコンの(▷)キーをトンと1回押すと次の曲が選べます。

※CDの最後の曲のときは、CDの一曲目を選ぶことができます。

CDが停止中のとき

・本体の*Track/Tune* ◁ キーまたはリモコンの(◁)キーをトントンと2回押すと最後の曲が選べます。

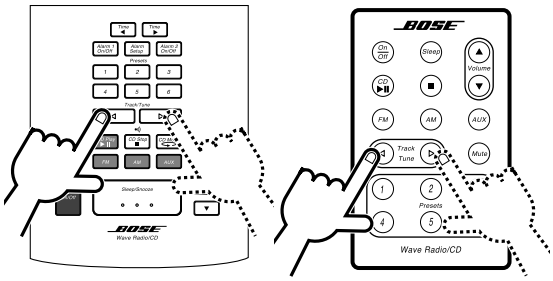
・本体の*Track/Tune* ▷ キーまたはリモコンの(▷)キーをトンと1回押すと次の曲が選べます。



◆曲の中の聴きたい箇所をさがすには◆

CDの再生中または停止中のとき

・図のように*Track/Tune*キーを押し続け、早送り、早戻しを行って、聴きたい箇所で指を離します。指を離して2秒以内にキーをトントンと小刻みに押すと、さらに細かく聴きたい箇所を探すことができます。



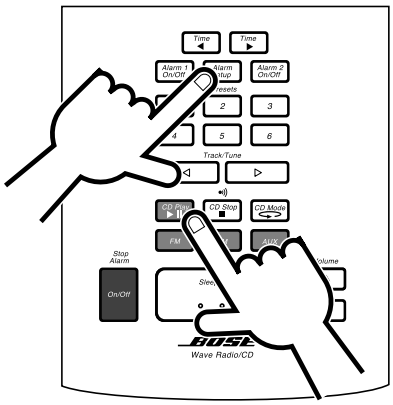
CDがポーズ（一時停止）状態のとき

・図のように*Track/Tune*キーを押し続け、早送り、早戻しを行いますが、ポーズ（一時停止）中に、この動作を行うと音を出さずに聴きたい箇所をさがすことができます。この場合、表示パネルの時間を見ながら、聴きたい箇所をさがしてください。

◆CD再生時の表示について◆

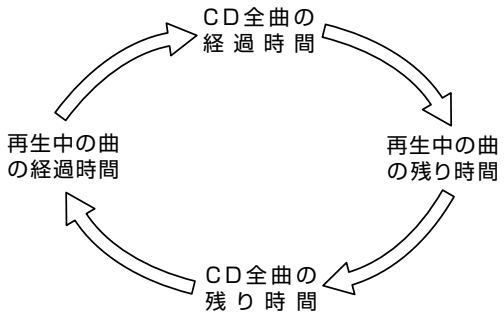
表示パネルの表示は、あらかじめ時刻表示か、CDの経過あるいは残り時間表示を選ぶことができます（12ページ◆時計表示と時計以外の表示の切り替えについて◆参照）。ただし、アラーム作動時は、時計表示のみになります。

※この操作はリモコンではできません。



●表示パネルの表示を時計以外の表示に設定している場合

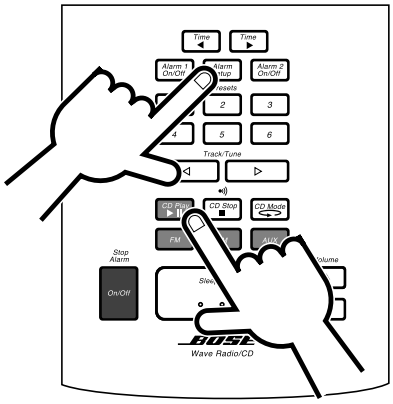
表示パネルには、CDの経過時間、あるいは残り時間が表示されます。表示内容を切り替えるには、Alarm Setupキーを押しながらCD Play ▶IIキーを押すと、下の順に切り替わります。

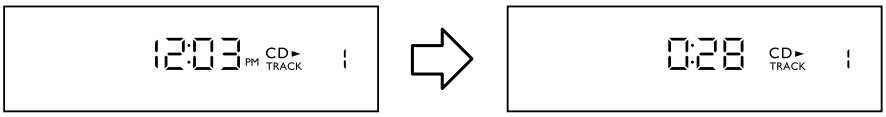


●表示パネルの表示を時計表示に設定している場合

Alarm Setupキーを押しながらCD Play ▶IIキーを押すと、押している間、または指を離して約5秒間CDの経過、あるいは残り時間表示をします。表示内容の切り替え方は上記の「●表示パネルの表示を時計以外の表示に設定している場合」と同じです。

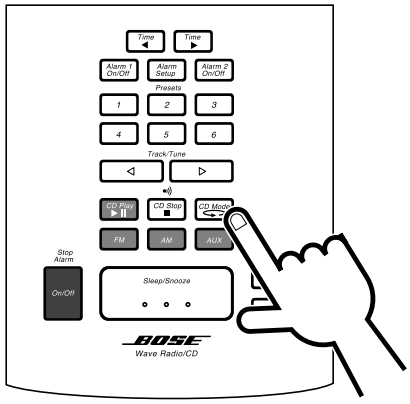
※この操作はリモコンではできません。





◆ランダム（順不同）、リピート（繰り返し）再生について◆

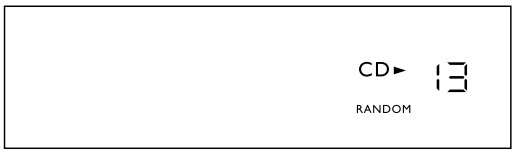
CDの収録されている曲をランダム再生したり、1曲または全曲を繰り返し再生することができます。



CD Mode キーを押して聴きたい再生方法を選びます。キーを押すと下のように再生方法が切り替わりますので、お好きな方法を選んでください。
※この操作はリモコンではできません。

RANDOM（ランダム）

全曲を1曲ずつ順不同に再生します。再生終了後、停止します。



REPEAT RANDOM（リピートランダム）

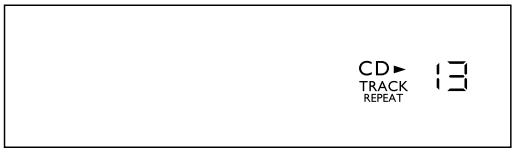
順不同で1回ずつ全曲を再生し終えると、新たに順番を変えて全曲を再生します。

REPEAT（リピート）

通常の順番で全曲再生を繰り返します。

TRACK REPREAT（トラックリピート）

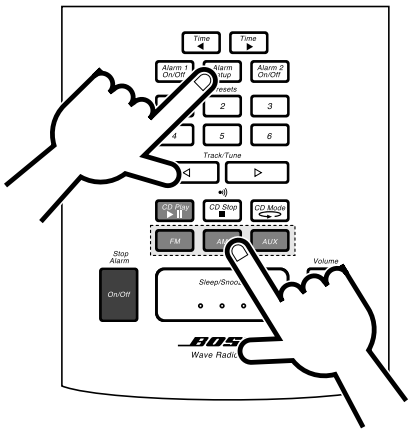
1曲だけ繰り返し再生します。



TRACK（トラック）

通常再生をします。全曲再生終了後、停止します。この方法を選ぶと、ランダム、リピートの解除になります。

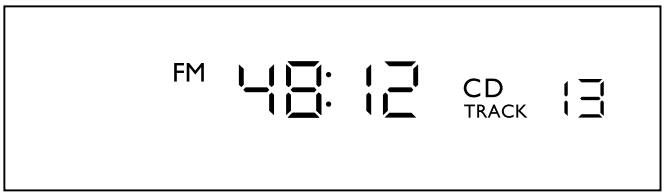
◆再生終了後に他の音源に切り替える◆



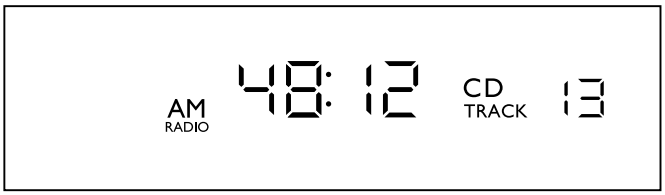
CDの再生が終了すると、自動的に他の音源（FM,、AM、AUX）に切り替えて音楽などを続けて楽しむことができます。

・ Alarm Setup キーを押しながら FM 、 AM 、 AUX キーのいずれかを押すと、CDの演奏終了後に選んだ音源に切り替わります。
※この操作はリモコンではできません。

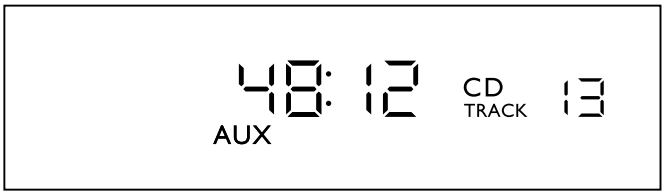
FMのとき



AMのとき



AUXのとき



◆CD再生中に他の音源に切り替えて、再びCDの再生にする◆

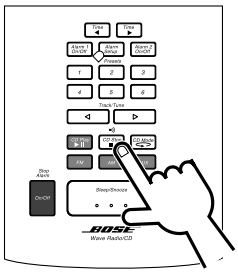
CD再生中に他の音源に切り替えても10分以内であれば、切り替えた時の箇所から、再びCDを再生します。

◆聴きたい順にプログラム–リモコンではプログラムできません–◆

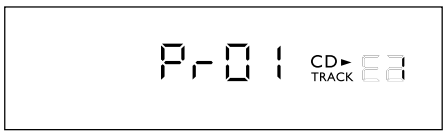
32曲までCDの曲を聴きたい順にプログラムできます。

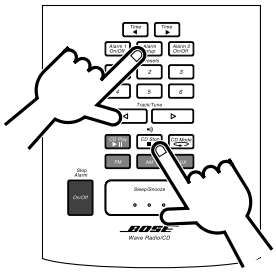
気をつけて
プログラムは消去する操作を行わないと消去されません。そのため、どのCDを入れてもプログラムした曲の順で再生されます。

1. CD Stop キーを押してCDを停止させます。

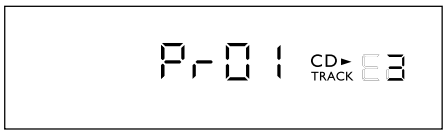


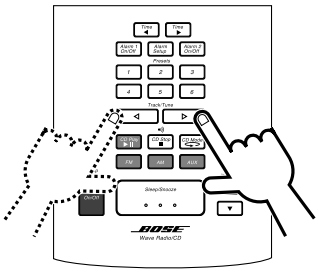
2. Alarm Setup キーを押しながら CD Stop キーを押します。表示パネルに“Pr 01”（プログラムの1曲目の意）が表示されます。



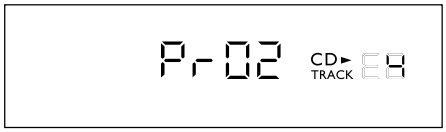


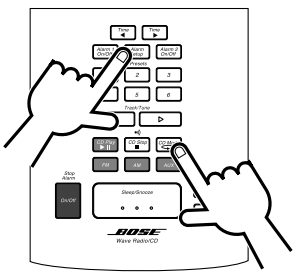
3. *Track/Tune*の ◁ または ▷ キーを押して曲を選びます。



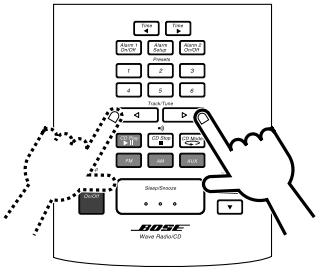


4. 選曲したら Alarm Setup キーを押しながら CD Mode キーを押して決定、登録します。表示パネルには“Pr 02”と表示されます。

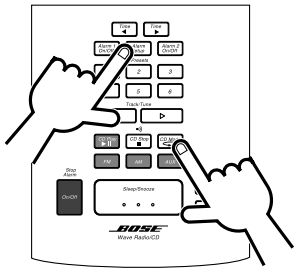




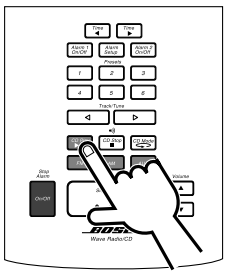
5. *Track/Tune*の ◁ または ▷ キーを押して次の曲を選曲します。



6. Alarm Setupキーを押しながらCD Modeキーを押して登録します。以降、好みの曲を再生したい順に手順**2**と**3**を繰り返しながら登録していきます。

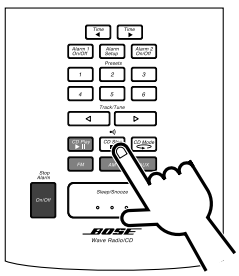


7. CD Playキーを押して再生を開始します。このとき表示パネルに“PRESET”が表示されます。

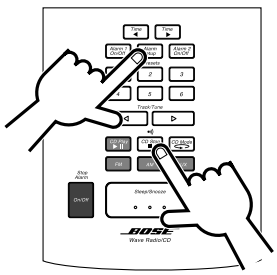


・プログラム内容を確認、修正するには

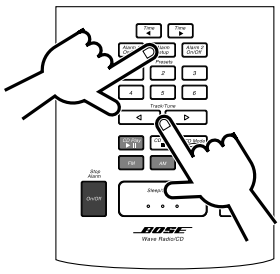
1. CD Stopキーを押してCDを停止させます。



2. Alarm Setupキーを押しながらCD Stopキーを押します。表示パネルに“Pr 01”が表示されます。



3. Alarm Setupキーを押しながら*Track/Tune*の◁または▷キーを押してプログラム内容を確認します。プログラム内容を修正するには、修正したいプログラム番号を選んで24ページ◆聴きたい順にプログラム◆の手順**2**と**3**を行って、新しい曲の番号を登録します。

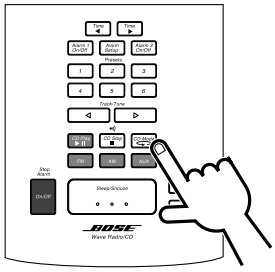


・もう一度同じプログラムで再生するには

1. CD Stopキーを押します。
2. Alarm Setupキーを押して、CD Stopキーを押します。表示パネルに“Pr 01”が表示されます。
3. CD Playキーを押すと再生を始めます。

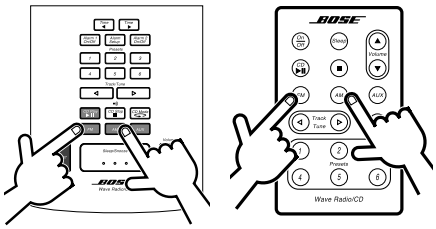
・プログラムの消去のしかた

プログラム中、またはプログラム再生中にCD Modeキーを押すとプログラムは消去されます。



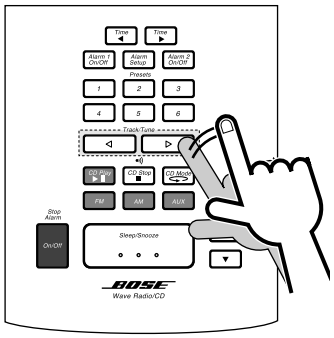
ラジオを聴いてみましょう

◆ラジオの聴き方◆



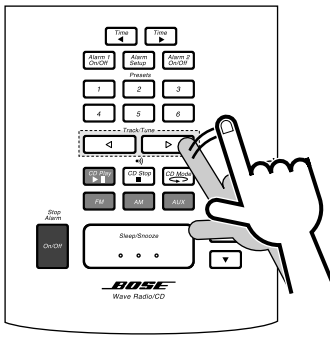
はじめにお聴きになりたい放送を選びます。
FM放送をお聴きになりたい場合は図のようにFMキーを、AM放送をお聴きになりたい場合はAMキーを押します。
※電源が入っていなくてもFM、AMキーを押すと自動的に電源が入ります。

●自動選局



*Track/Tune*の ◁ または ▷ キーを1回トンと押すと、十分受信できる強さの電波の放送局を、自動的に選局します。

●選局のしかた



*Track/Tune*キーをトントンと小刻みに押すか、あるいは押し続けてお好きな放送局を選ぶこともできます。

※手動選局のあと、2秒以上間隔をあけてからトンと 1 回Track/Tuneキーを押すと、自動選曲になります。

注：AM受信の場合、内蔵のAMアンテナを使用します。本体の向きを変え、受信感度を調節してください。

注：FM受信の場合、FMアンテナは、本体の電源コードに内蔵されています。電源コードを動かして、受信感度を調節してください。内蔵アンテナで満足な受信感度が得られない場合は、外部アンテナを接続すると感度が改善されることがあります。

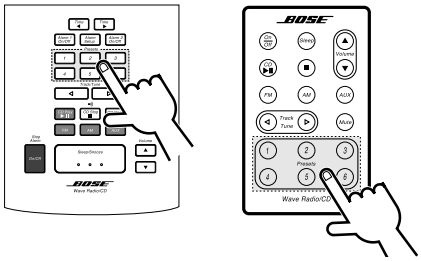
●放送局の登録（放送局のプリセット）のしかた

AM、FMとも各6局ずつ放送局を登録（プリセット）することができます。
※放送局の登録はリモコンではできません。

まず、お好みの放送局を受信し、***Presets***（プリセット）キーの 1 ～ 6 のお好きな数字のキーを押します。このとき、表示パネルに押した数字が表示されるまで、登録したい数字のキーを押し続けてください。

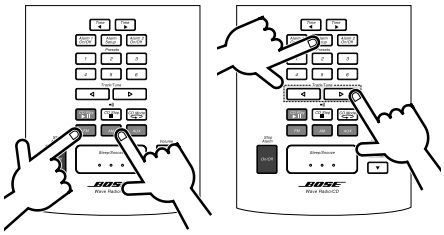
●登録した放送局の呼び出しのしかた

Presets（プリセット）の数字キーを押し、登録済みの放送局を選択してください。



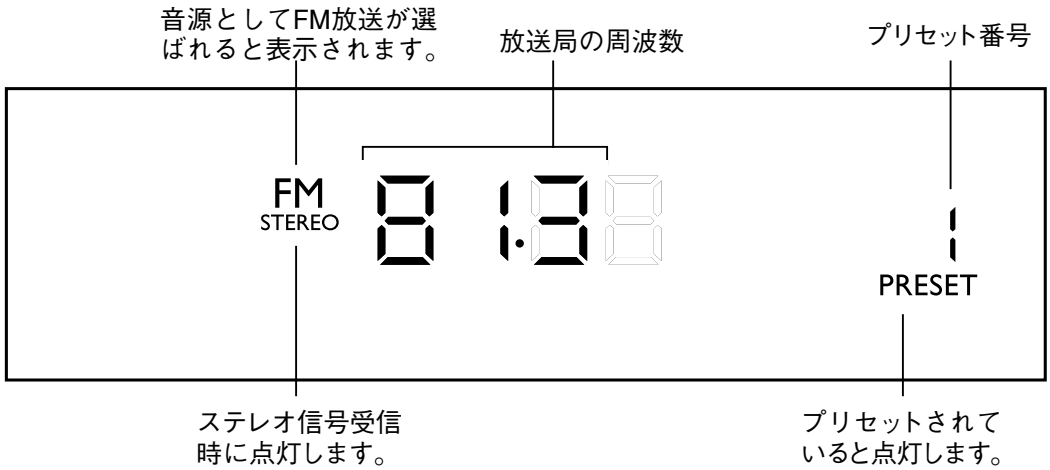
●現在聴いている放送局の確認のしかた

時刻表示モード（12ページ参照）でラジオを聴いているときに、聴いている放送電波の種類（バンド）のキー（FMまたはAM）を押すと、現在受信している周波数が表示されます。または、Alarm Setup キーを押しながら*Track/Tune*の ◁ または ▷ キーを押すと、押している間だけ周波数が表示されます。



◆ラジオ関連の表示内容◆

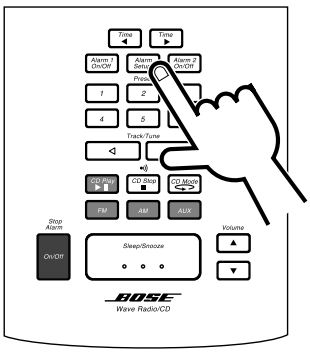
・例えばFM放送を受信しているとき



アラーム（目覚まし）機能について

◆アラーム（目覚まし）の設定 ーリモコンではできませんー ◆

電源が入っているか切れているかに関係なくアラームの設定ができます。



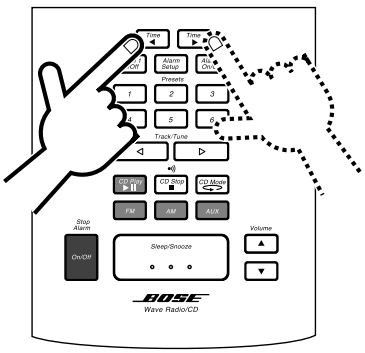
・Alarm Setup キーを1回押してアラーム設定状態にします。表示パネル左に“ALARM1”が点滅します。“ALARM1”が点滅している間に、以下の手順にそって、時刻、音量、アラーム音の種類（ブザー、CD、ラジオ、ブザー＋CD、ブザー＋ラジオ）を選びます。

・ALARM2は Alarm Setup キーを3回押して、表示パネル左に“ALARM2”を点滅させて同様の手順で設定します。

※表示パネル左の“ALARM1”または“ALARM2”が点滅している間に操作を行ってください。

1.時刻の設定

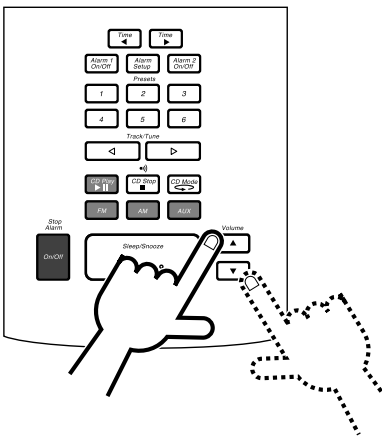
Time ◀ または Time ▶ キーを押してアラーム開始時刻に合わせます。



2.アラーム音量の設定

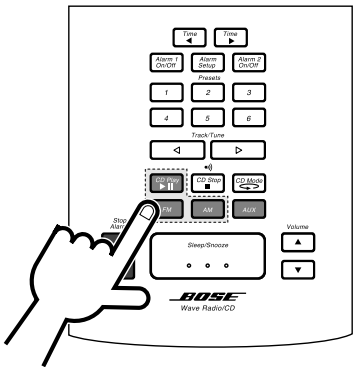
図のように*Volume*（ボリューム）キーで音量の設定をします。

※アラームで設定可能な最小ボリュームレベルは10です。

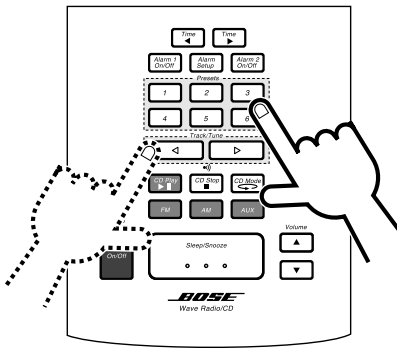


3.アラーム音の種類の選択

・FM、AM、CDのいずれかを選ぶ場合は、お好みの音源のキーを押します。
ブザー音を選ぶ場合は、CD Stopキーを押す。



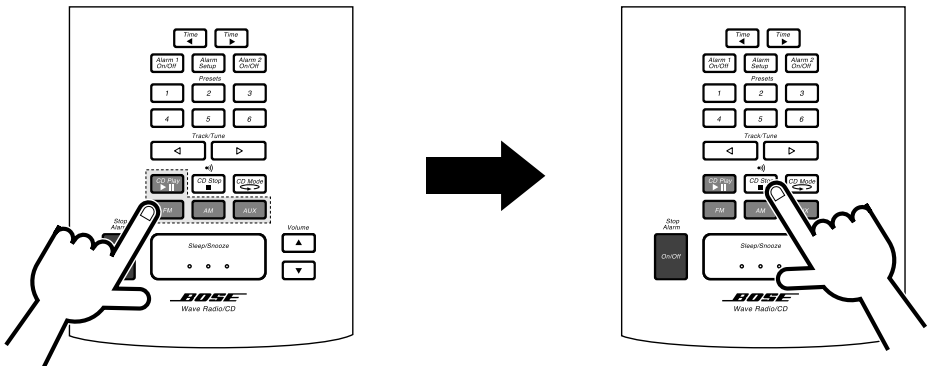
・FM、AMを選んだ場合は、最後に聴いていた放送局が選ばれます。違う放送局でアラーム設定する場合は*Presets*（プリセット）キーまたは、*Track/Tune*の◁または▷キーで好みの放送局を選びます。



・CDを選んだ場合は、CDの一曲目から再生します。*Track/Tune*の◁または▷キーでお好きな曲を選ぶこともできます。

※ランダムやトラックリピートを選ぶこともできます。この場合、CD Modeキーを押してお好きな再生方法を選んでください。

・ラジオ、CDのいずれかとブザー音の両方を設定する場合は、まず好みの放送局またはCDを選択します。次にCD Stopキーを押すと設定できます。

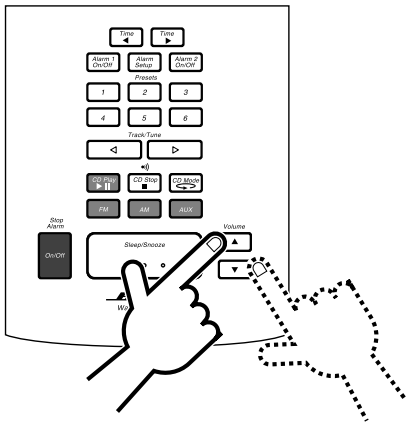


※AUXはアラーム音源として選択できません

◆アラーム（目覚まし）音量の設定◆

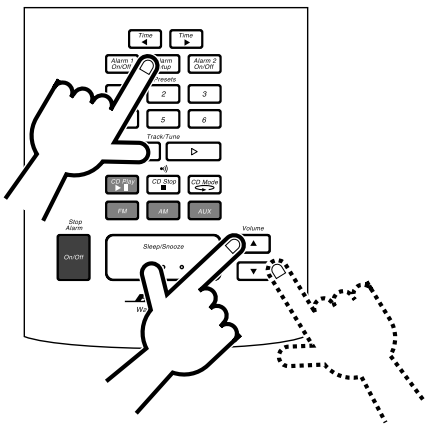
表示パネル左の“ALARM1”または“ALARM2”が点滅している間に*Volume*（ボリューム）キーを使って音量を設定してください。

※アラーム音量で設定できる最小レベルは10です。



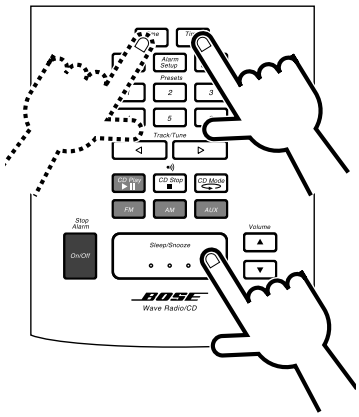
・アラーム音量のテスト

アラーム設定中に[Alarm Setup]キーを押しながら*Volume*（ボリューム）キーを押すとブザー音が聞こえます。ブザー音で音量を確認してください。

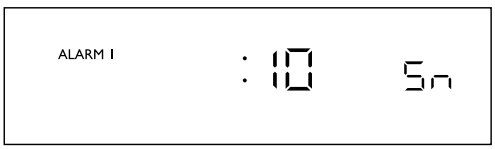


◆スヌーズ時間の設定◆

スヌーズとはアラームが鳴っているときに、このキーを押すとアラームが一時的に止まり、設定時間後再びアラームが鳴りだす機能です。



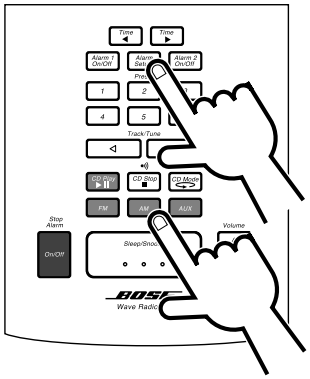
・アラーム設定操作中で“ALARM1”または“ALARM2”が点滅している間に、[Sleep/Snooze]キー押しながら時刻設定キーを押して、点滅しているアラーム番号のスヌーズ時間を設定します。設定時間は1～30分です。表示パネルに表示される“Sn”と設定時間で確認します。ALARM1とALARM2では別々にスヌーズ時間を設定できます。



◆アラーム（目覚まし）設定の中止◆

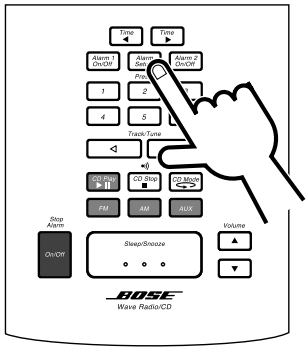
次の3通りの方法で設定を中止することができます。

- [AUX]キーを押します。
- “ALARM1”または“ALARM2”が点滅しなくなるまで[Alarm Setup]キーを押します。
- アラーム設定状態のまま、約10秒間放置すると自動的に設定が中止されます。



◆アラーム(目覚まし)の確認◆

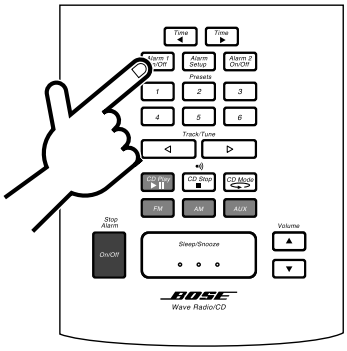
Alarm Setup キーを1回押すと“ALARM1”の設定内容が確認できます。さらに2回押すと“ALARM2”の設定内容が確認できます。



◆アラーム(目覚まし)の使用方法◆

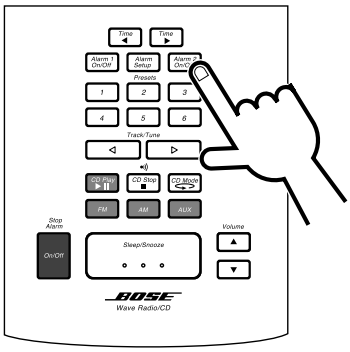
・ALARM1を使う時

Alarm 1 On/Off キー押すとALARM1がセットされ表示パネルに“ALARM1”が点灯します。もう一度 Alarm 1 On/Off キーを押すと解除されます。



・ALARM2を使う時

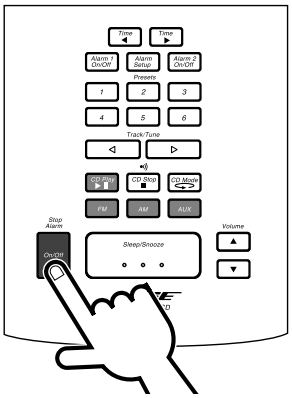
Alarm 2 On/Off キー押すとALARM2がセットされ表示パネルに“ALARM2”が点灯します。もう一度 Alarm 2 On/Off キーを押すと解除されます。



◆アラーム(目覚まし)を止める◆

アラームが鳴っているときに On/Off キーを押すとアラームが止まります。アラームの設定は解除されず、毎日、自動的に繰り返されます。

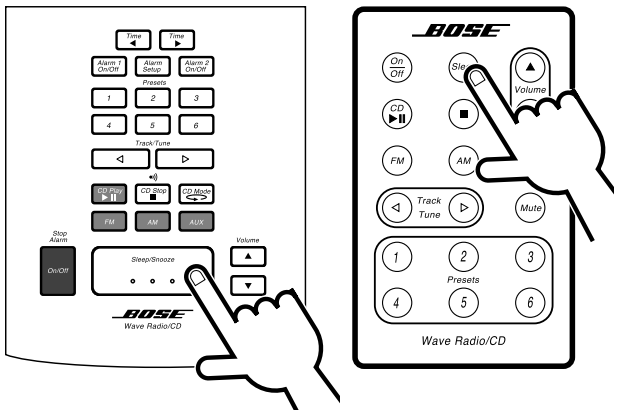
※アラームの設定を解除するには、Alarm 1 On/Off キーまたは Alarm 2 On/Off キーを表示パネルから“ALARM1”または“ALARM2”が消えるまで押してください。



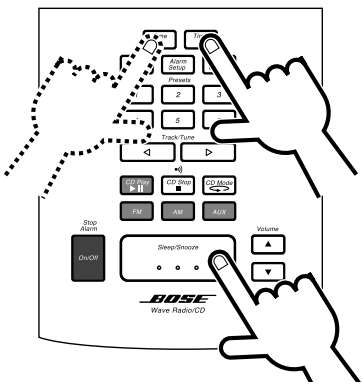
・ On/Off キーでアラームを止めない場合
ブザー音のアラームは30分間、ラジオ、CDでのアラームは60分間鳴り続けます。ラジオ、CDのいずれかとブザー音の両方を設定している場合は、はじめにラジオまたはCDが10分間鳴り、続いてブザー音が30分間鳴ります。

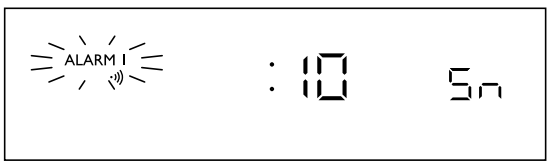
◆スヌーズを使う◆

アラームが鳴っている時に、Sleep/Snooze キーまたはリモコンの Sleep キーを押すと、あらかじめ設定されたスヌーズ時間(特に設定されていない場合は初期設定の10分間)経過後に再びアラームが鳴りはじめます。スヌーズでアラーム待機中の表示パネルはALARM1”または“ALARM2”が点滅し、さらに“Sn”が表示されます。スヌーズは何度でも繰り返し行えます。



・一時的にスヌーズ時間を変えることができます。Sleep/Snooze キーを押して残りの時間を表示させます。表示中に時刻設定キーを押すと、設定時間を変えることができます。





◆アラーム(目覚まし)が鳴っている時に音量調整◆

アラーム音は、はじめ小さな音で鳴り始め、設定音量まで徐々に大きくなります。*Volume*(ボリューム)キーを押すと、設定音量にかかわらず音量を変えることができます。

故障かな？と思ったら

問　　題	解　決　方　法
本体が機能しない	・電源コードがしっかりとコンセントに差し込まれているか確認してください。
音がしない	・音量を上げます。 ・リモコンのMuteキーを押してミュートを解除します。 ・CDが正しくセットされているかを確認してください。 ・AUXに接続されている外部機器の接続を確認してください。 ・AUX IN端子に接続されている外部機器を聴きたい場合はAUXを選択してください。 ・AUX IN端子に接続されている外部機器の電源をオンにしてください。
リモコンが効いたり効かなかったりする。又は全く効かない	・リモコンの電池の極性が正しくセットされているか確認してください。 ・必要に応じて電池を交換してください。 ・リモコンを本体に近づけて操作してください。 ・照明や日光による影響がないか、レンズが汚れていたり埃がついたりしていないかを確認してください。 ・場所を変えて操作してください。
AM受信が悪い	・本体の向きを変えながら受信感度の良いところを探してください。 ・本体をTV、冷蔵庫、蛍光灯、ハロゲンランプ、調光器等の電気ノイズを発生するものから離してください。 ・AM放送の電波が弱い地域の可能性があります。
FM受信が悪い	・電源コードにFMアンテナが内蔵されているので、電源コードをできるだけまっすぐ伸ばしてください。 ・電源コードを動かして受信感度の良いところを探してください。 ・それでも受信が改善されない場合は外部アンテナが必要になります。
CDが作動しない	・表示パネルに再生／ポーズマークが点灯しているか確認してください。 ・マークが点滅しているときはCDがポーズ（一時停止）状態なので、CD Play ▶IIキーを押してポーズ（一時停止）を解除してください。 ・CDが正しくセットされているか確認してください。 ・CDが汚れているか埃がついている可能性があります。18ページを参照しながらCDをクリーニングしてください。 ・CDが破損している可能性があります。別のCDで再生してみてください。 ・本機ではDVDディスクは再生できません。
表示パネルの表示内容が正しくない	・12～13、21ページの表示パネルの設定方法を参照して表示パネルの設定を変更してください。（12時間表示か24時間表示、時計表示か時計以外の表示、経過演奏時間か残り演奏時間の表示） ・表示パネルに何も表示されなくなった場合も含めて症状が改善されない場合は、電池と電源コードを抜いて30秒程放置した後にセットしなおしてください。この場合、ウェーブレディオCDは初期設定に戻っているので、プリセットや時計等は設定しなおす必要があります。

故障の場合のお問い合わせ先

故障及び修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社 ☎042-357-5250
　住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル
アフターサービスに関するお問い合せは、 ☎0120-130-168までご連絡ください。

仕　様

受信範囲	522～1629kHz（AM）、76.0～90.0MHz（FM）
スピーカーユニット	5.7cmフルレンジユニット×2（防磁タイプ）
定格出力	右4W（中高音）＋左12W（中高音＋左右低音）
最大音圧	90dB以上（1m）
AUX入力	400mV（20kΩ）
高調波歪率	0.2%以下
外部入力端子	1系統
出力端子	1系統（固定）
アンテナ	AM/FMアンテナ内蔵〈FM外部アンテナ接続端子付属（F接栓）〉
付帯機能	時計、アラーム1、アラーム2、スヌーズ、スリープタイマー、ナップタイマー
CD関連機能	ランダム、ランダムリピート、プログラム（最大32曲）、リピート（全曲、1曲）
電源	100V（50Hz/60Hz）
定格消費電力	25W（待機電力3.5W）
外形寸法	356（W）×216（D）×111（H）mm
質量	3.4kg（9V電池を含む）
本体カラー/材質	プラチナム・ホワイト、グラファイト・グレー/ABS樹脂

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®

ボーズ株式会社

http://www.bose.co.jp/

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル　TEL 0120-130-168

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱い以外の製品につきましては、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

p/n 252046
OM-1168
04・11-フィ-O・1(I-M)